

年 組 名前:

NPBへの「登竜門」、 4～9月開催、月給は10万～40万円

山梨FWが加盟「BCリーグ」とは

4日、プロ野球独立リーグ「ルートインBCリーグ」に山梨ファイアーウィンズ(山梨FW)の本加盟が承認され、山梨県に初めてプロ野球の球団が誕生することになった。近年、日本プロ野球機構(NPB)のドラフト会議で多くの選手を送り出し続けている独立リーグは、どんなリーグなのか。選手たちの報酬、年間日程、運営方式は? リーグを巡る現状を探った。〈市川和貴〉

―関連記事1、26面

独立リーグは、パワリーグを持つNPBとは別のプロ団体。甲子園出場経験者や、大学に通いながらプレーする選手、元NPB所属などさまざまな経歴の選手がいる。日本独立リーグ機構には現在、BCリーグのほか、四国アイランドリーグplus、ヤマエグループ九州アジアリーグ、北海道フロンティアリーグ、日本海リーグが加盟している。

プロ野球ではあるが、NPBとはあらゆる面で異なる。NPBは成績を残せば年俵が数億円に達する選手もいるが、BCリーグの登録選手の月給は10万～40万円とされる。3月にキャンプインし、シーズンは4～9月。11～2月はオフシーズンで球団から報酬が支払われないため、選

手たちはスポンサー企業や地域でアルバイトをしながら生計を立てている。BCリーグは「Baseball Challenge」リーグの略で、四国に続いて2007年に発足した。今季は福島レッドホープス、群馬ダイヤモンドペガサス、長野の信濃グランセローズ、茨城アストロプラネッツ、埼玉武蔵ヒートベアーズ、栃木ゴールデンブレーブス、神奈川県川フューチャードリームスの7球団が所属。年間56試合を実施して優勝球団を決める。公式戦終了後にプレーオフを開催し、ファーストラウンドで1位と4位、2位と3位が対戦。ファイナルラウンドを勝ち抜いたチームは、独立リーグチームの日本一を決める「グランドチャンピオンシッ

プ」に進出する。山梨FWが加盟する来シーズンは8球団となるため、4球団ずつに地区分けをするかは今後検討する。NPB所属球団と交流戦も行っている。

BCリーグによると、今季開幕時で、選手256人が所属している。選手の平均年齢は22・8歳で、昨シーズン終了時点で平均在籍年数は1・9年と短い。独立リーグは近年、NPBの「登竜門」として認知されるようになってきた。昨年NPBのドラフト会議で指名された全122人のうち、独立リーグからは23人が指名され、BCリーグからは8人が入団。BCリーグ出身選手では、昨年のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)に出場し、独立リーグ出身選手として史上初となる投手タイトルを獲得した湯浅京己(阪神)がいて、2年前は笛吹市出身の渡辺明貴投手が茨城からDeNAに育成指名された。

独立リーグの中には、業績低迷のため解散したチームもある。山梨FWも厳しいクラブ運営が予想されるが、県民の熱い期待を背に、山梨の野球界の発展や、NPBへの架け橋の役割を果たせるかが注目される。

問1

山梨県に初めてプロ野球の球団が誕生し、

来季のBCリーグは8チームでの戦いです。

次のチームがある県を、図のAからHの中から

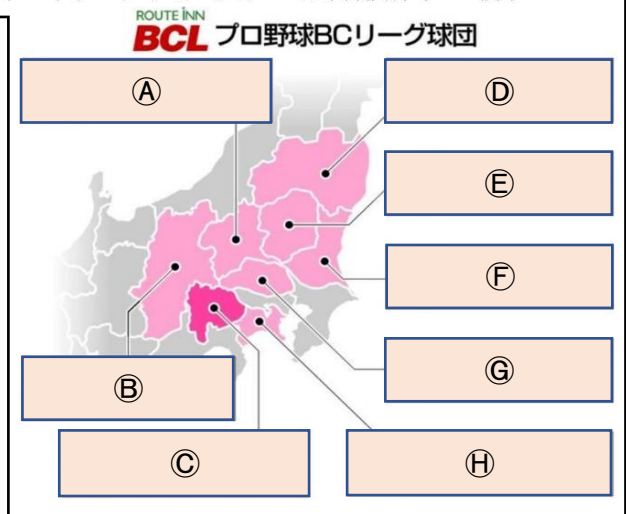
選んでください。

ファイアーウィンズ [] フューチャードリームス []

レッドホープス [] ダイヤモンドペガサス []

グランセローズ [] アストロプラネッツ []

ヒートベアーズ [] ゴールデンブレーブス []



(2024年7月5日付 山梨日日新聞 19面)